

## 終点でもあり新たなスタートラインでもある——歓送会

北京師範大学学生代表

見学日時：2017年12月5日（火）12:00-13:45

見学場所：ホテルニューオータニ東京

### 概要

歓送会が始まる前、私たちはホールの入口で中国駐日本国大使館の外交官、中国日本商会、日中経済協会のメンバー、ホストファミリー及び訪問先企業の代表者を迎えた。歓送会では、日中経済協会の伊澤理事長、そして「走近企・感受日本」訪日団の程海波団長及び日中経済協会の横山氏、中国駐日本国大使館の薛劍公使級参事官がそれぞれ挨拶を行い、今回の活動が無事終了したことへのお祝いの他、私たち若者世代への期待そして日中関係の更なる発展への期待を述べた。その後、訪日団の6大学の各代表者が自らの体験と感想を交え、この8日間についての総括を行った。今回実際に日本を体験して、私たちは本当の日本というものに触れ、その優れた科学技術、整った制度、国民の素養の素晴らしさを目にした。これからの時代の青年として、私たちはより多くの人が客観的に日本



と向き合うべく、今回見聞きした事を周りの人々へ伝え、日中の友好に自分たちなりの貢献をしなければならない。そして最後に、学生全員が訪日団の団歌である「違いはない」を合唱した。感動的な歌詞によりお別れの寂しさはより強まり、嗚咽をする、また涙を浮かべる学生もいた。出会いがあれば別れもある、この8日間、私たちは企業、大学、中国駐日本国大使館を訪れ、そしてホストファミリーとの忘れ難い友情を培った。私たちは身を以って実際に日本への直感を得ることができた。今回の訪日活動は私たちが今後前進する上での原動力になっていくだけでなく、日中の友好交流を促進する架け橋となることを確信している。

### なぜですか？

問：歓送会では一部の人が和服を着て参加していた。日本人はどういった場で和服を着るか知っていますか？

答：その場の重要度により着るものが決められる。日本人は普段の生活において浴衣等を着ることも少なくないが、より正装といえる和服は非常に厳かな場において着られる。例えば厳かな祝祭日、成人式、重要な会議や儀式等

では和服が着られる。そして今回の歓送会に一部の人が和服で出席したことは、彼らが今回の送別をとっても重視し、私たちを非常に重要な人として認識しているだけでなく、さらに私たちへの最大限の祝福を表している。



## 感想

出会いがあれば別れもある。名残惜しいが、私たちは8日間の訪日の旅の終わりを迎えた。

大使館を訪れた際、郭燕公使は「若い時期に海外を訪れる経験はとても得難いものである」と述べていたが、本当にその通りだと思った。日本でのこの8日間、私たちは各企業からの細やかなおもてなしを受け、スタッフの熱心な解説に耳を傾けた他、ホストファミリーからの気遣いやお世話を受け、日本や日本企業、そして日本の家庭について知ることができただけでなく、自分たちの視野が広がり、思いやりを感じることもできた。これら全てについて、それまで脳裏にうっすらと残っていたものが、歓送会の場で各企業のスタッフ、お世話になったホストファミリーなど一人ひとりを目にすることで、はっきりと、鮮やかに、そして永遠の素敵な思い出に変わっていった。

日本での8日間で受けた恩や思いやりといったものに対して、私たちは団歌を歌うことで恩返し of 気持ちを示すしかなかった。メロディーが流れた瞬間、この数日間の記憶が映画の画面のように目の前を駆け抜け、名残惜しさがこみ上げ、どうやってお別れをしたらいいのか分からなくなった。空港に向かうバスがゆっくり動き出すと、車窓の外の「お父さん、お母さん」そして可愛らしい子どもたちがしきりに手を振っていた。お別れは終点ではなく、次の出会いへの始まりである。私たちは今回日本で感じそして学んだことの全てを中国に持ち帰り、今回の友情や縁というものを別の形で残し、再会の際に旧友に喜びをあたえられることを期して自分を高めたいと思う。